

'23春闘ニュース



発行元：神奈川県労働組合総連合 - 横浜市中区桜木町3-9横浜平和と労働会館 6F TEL045-212-5855 / FAX045-212-5745

神奈川県国民春闘共闘会議 代表委員会議（総会）を開催

神奈川県国民春闘共闘会議は、12月26日に代表委員会議(総会)を開催し、春闘にむけた学習やとりくみ・方針の交流、財政・役員の確認などを行いました。オンラインも含めて約20人が参加しました。

化学一般労連のとりくみを学ぶ

講演を化学一般労連の海老原書記長にお願いし、とりくみや具体化について話していただきました。昨年22国民春闘では近年になくベアを獲得した職場が多かったこと、産別としてのつながりを意識したとりくみや、若者の発言によって大幅賃上げを勝ちとったことを紹介しました。化学一般労連では「調査なくして要求なし」として、毎年の春闘要求意識調査や「労働・生活・健康調査」、「総合労働条件調査」などをとりくみ、職場活動に活かしています。



23国民春闘では、コロナ禍で行えなくなっていたとりくみを再開させて、基本に立ち返った春闘にすることを強調。組合員・役員が労使対等であるという原則を踏まえて、要求やとりくみをしていくことの重要性を話しました。また、危険物を扱う職場も多く、労働安全衛生の具体的なとりくみも紹介されました。

特別報告として、横三労連の田中事務局長から、かがみ田苑労組がストライキを背景に、一時金などの改悪提案をすべて撤回させ、とりくみのなかで組合員も数倍に増やしている運動を報告しました。

討論では、産別・地域からそれぞれ発言がありました。「統一行動日にとりくむ。2月に春闘にむけた集会を実施」(福祉保育労)、「学習会も行いながら、ストを背景に闘いたい」(全国一般)、「アンケートを集約中、正規は1万円のベア、パートは100円のベアを求めるのが多数。時間額1500円をめざす」(ユーコープ労組)、「統一ストがもっとも重要と考えており、意思統一をはかる」(JMITU)、「20代後半の分会長が『組合は大事』と感じて、拡大にとりくみ5人を増やした。教職員は欠員状態で、若い人に大きな負担がある」(教職員連絡会)、「組合の調査で、数年ぶりに賃金が下がった。2月に賃金活動者会議を開催する。インボイスの問題もとりくむ」(建設労連)、「春闘で賃金が上がらなければ、人勧も上がらない。統一行動に結集したい」(公務労組連)、「地域労組は、組合員がバラバラで困難もあるが、一人職場でも可能であれば要求を出していきたい」(川崎春闘共闘)。

役員体制や財政などを確認し、終了しました。